

「ソラダス2016」の報告

(第8回 府民による大阪NO2いっせい測定と健康アンケート調査運動)

- NO2測定の結果
- 健康アンケートの結果
- ソラダス2016が提起する課題

2017年2月4日
ソラダス2016実行委員長 西川栄一

ソラダス2016の実施状況

第8回ソラダス2016の実施状況

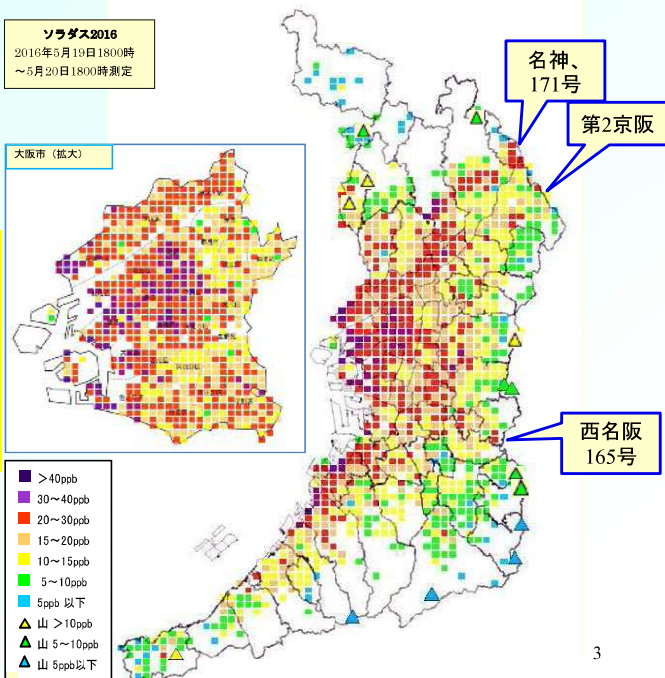
		参加 団体	参加 人数	カプセル数		**健康 アンケート数
				配布	設置	
メッシュ 測定	大阪市内	190	1,506	3,402	3,357	1,281
	大阪府域	158	1,627	4,049	3,625	1,765
	小計	348	3,133	7,451	6,982	3,046
自主測定	団体参加	30	1,237	2,520	2,243	1,823
	個人参加	1	2	13	13	4
	小計	31	1,239	2,533	2,256	1,827
合計		379	4,372	9,984	9,238	4,873

*) 行政区で実施された自主測定の数も含む

**）有効データのみ集計

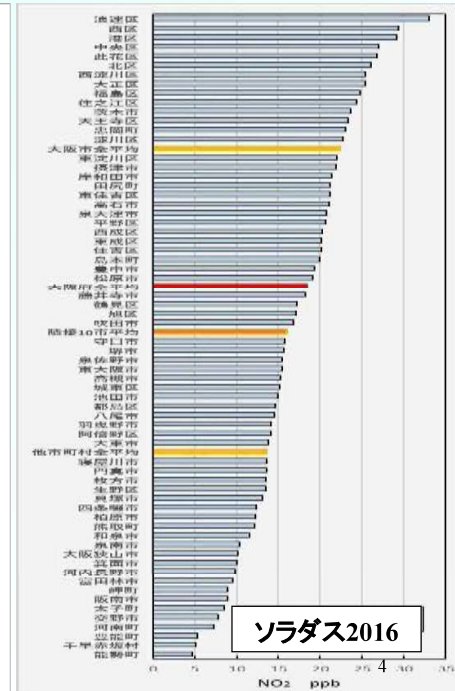
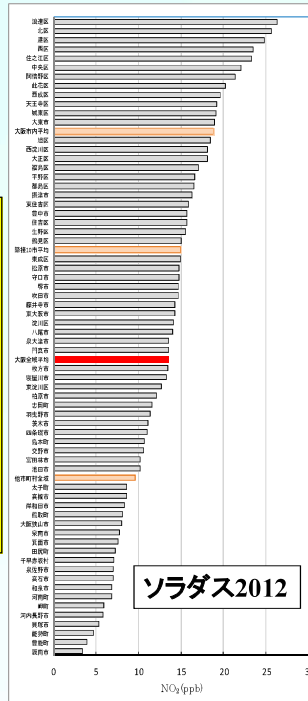
メッシュ測定 結果のマップ 表示

- 大阪市の汚染濃度が最も高く、そこを中心に周辺府域へ広がる
- 大阪市の分布汚染濃度の高い地域
 - ・北区、浪速区、西区
 - ・湾岸5区(西淀川、此花、港、大正、住之江)



各行政区 平均濃度の 分布

- メッシュ測定、カプセル設置面積密度同じにした測定。各行政区のNO2濃度が求まる
- ワースト10行政区はすべて大阪市域
- 浪速区は2つのソラダスともワーストワン



区域NO2濃度 に対する道路 面積率の影響

- 道路面積率とNO2濃度には相関がみられ、間接的にだが、区域自動車交通量がNO2汚染に影響していると見られる
- 湾岸5区は道路面積率の割にはNO2が高い。大型車の交通量が多いのが原因。

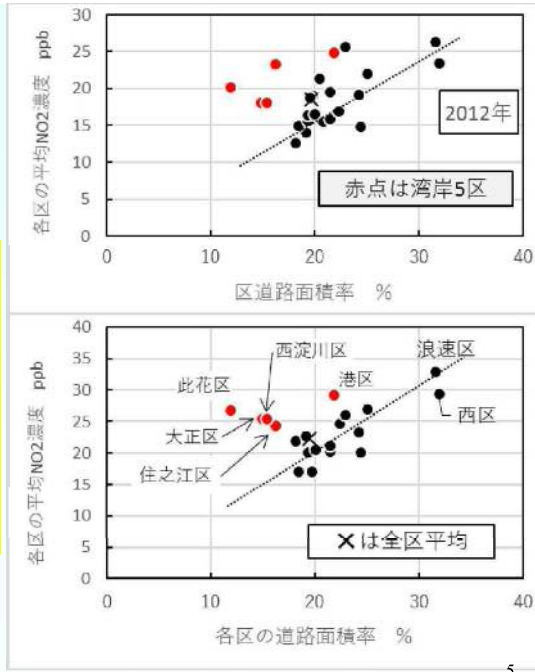


図4 大阪市各区NO₂平均濃度と道路面積率の相関

局所的に高濃度に汚染された地点の存在

- 局所的高濃度汚染された地点があちこちに存在
 - * 港区、国道43号と阪高17号が重なり、中央大通りやみなと通りが交差する地域周辺
 - * 浪速区、四つ橋線と千日前通の交差点に阪高1号と15号の交差部が重なる地点周辺
 - * 吹田・茨木市、名神高速・中国自動車道・近畿自動車道、中央環状が重なる地点周辺、などなど
 - * 住之江区南港、幹線道路沿道周辺、などなど。
- 高濃度地点の多くは自動車交通の多い地点、とりわけ大型車交通の比率が高い地点
自動車排出ガス、中でもディーゼル車排出の影響大
- 湾岸域では港湾活動・産業活動とそれらに伴う大型車・重量車交通の汚染寄与

港区自主測定データ

(国道43号と阪高17号が重なる沿道)

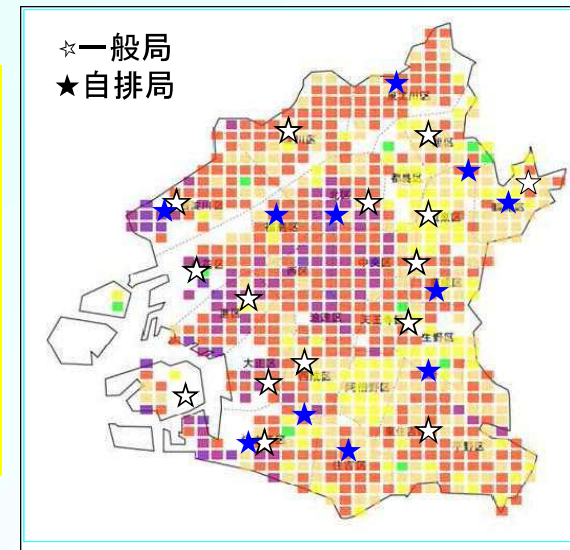


図10 港区の国道43号沿道の自主測定結果

測定者	住所・地域名	NO2濃度 (ppm)
港区自主	大阪市港区南市岡3-10	83
港区自主	大阪市港区南市岡3-11	79
港区自主	大阪市港区弁天1-2	76
パルコープ	大阪市港区弁天1-2-1	67
港区自主	大阪市港区波除3-13	66
港区自主	大阪市港区弁天1-6	65
港区自主	大阪市港区南市岡3-11	61
港区自主	大阪市港区磯路1-1	60
港区自主	大阪市港区市岡元町3-11	57
港区自主	大阪市港区市岡元町3-13	57
港区自主	大阪市港区波除3-11	53
パルコープ	大阪市港区弁天2丁目1	53
港区自主	大阪市港区市岡1-1	53
港区自主	大阪市港区市岡元町3-6	50
パルコープ	大阪市港区弁天2-7-28	48
パルコープ	大阪市港区市岡3-1-4	47
港区自主	大阪市港区市岡1-2	47
港区自主	大阪市港区市岡3-1-4	43
港区自主	大阪市港区弁天4-1	38
港区自主	大阪市港区弁天5-1	36
港区自主	大阪市港区磯路1-5	35
港区自主	大阪市港区磯路1-7	35
港区自主	大阪市港区弁天5-10	25
港区自主	大阪市港区弁天5-8	7 25
パルコープ	大阪市港区南市岡3-6-24	23

NO2濃度分布と大阪市常時測定局の配置

- 浪速区、港区にはNO2の測定局が置かれていない
- 大阪の現在の監視網は、高濃度スポットが的確に捉えられていない



NO2測定結果のまとめ

■大阪全体のNO2濃度分布

- ◇大阪市域を頂点に周辺へ広がる汚染分布が続いている。今回の測定では大阪市平均22ppb、隣接10市16ppb、その他府域14ppbであった
- ◇各行政区平均濃度では、高濃度はほとんど大阪市域行政区で占められる。とりわけ浪速、西、港、住之江は過去3回のソラダスで続けてワースト10に入っている。浪速、西は道路面積割合が高いこと、港など湾岸の区域では**港湾・産業活動**、それによる大型車交通が多いことが影響

■深刻な高濃度汚染の続く地域が存在する

港区の国道43号線と阪高17号線が重なって走行する地域沿道では、環境基準を超え、80ppbにも達する深刻な汚染が続いている

■湾岸地域はNO2濃度の高い地点が多い

湾岸域、埋め立て地での産業活動・港湾活動とそれらに伴う大型車・重量車の交通の影響が大きい

■NO2汚染には自動車排出ガスが決定的な影響

高濃度地点はほとんど例外なく自動車排出ガスとくに**ディーゼル大型車の排出ガスの影響**が大きい

9

NO2平均濃度とぜん息有症率 1

ぜん息の判定

アンケートへの回答とともに、日本アレルギー学会で議論されている「非専門医の適切な診断の基準」を参考に、呼吸器系医師が各症状に関する回答を基に審査した
 A群；「ぜん息が確実」
 「ほぼ確実」
 B群；「ぜん息の疑いがある」

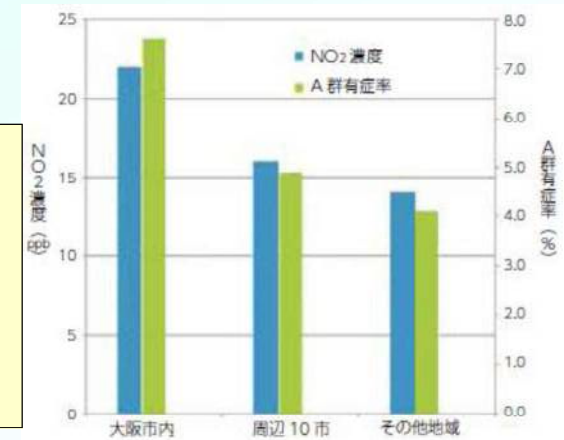
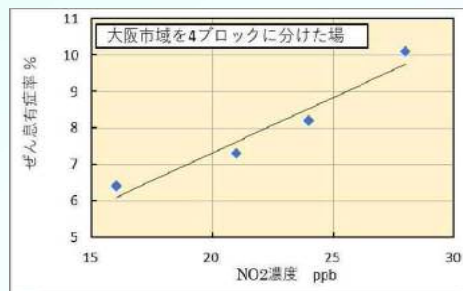
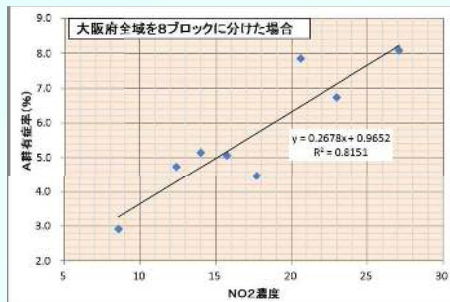


図3 A群の地域別有症率とNO2濃度

10

NO2濃度とぜん息有症率 2



グループ1=浪速、西、港、中央、北、此花
 グループ2=西淀川、大正、福島、住之江、天王寺
 グループ3=東淀川、東住吉、平野、東成、住吉、西成
 グループ4=鶴見、旭、都島、城東、生野、阿倍野

- 1 港区、浪速区、西区、中央区、此花区、大正区、北区、西淀川区
- 2 天王寺区、住之江区、福島区、淀川区、田尻町、東淀川区、東住吉区、摂津市
- 3 忠岡町、東成区、茨木市、高石市、平野区、西成区、住吉区、泉大津市
- 4 松原市、島本町、豊中市、岸和田市、旭区、都島区、吹田市、堺市
- 5 藤井寺市、鶴見区、東大阪市、守口市、城東区、生野区、阿倍野区、高槻市
- 6 門真市、泉佐野市、八尾市、羽曳野市、貝塚市、寝屋川市、池田市 大東市
- 7 柏原市、枚方市、泉南市、熊取町、和泉市、四條畷市、河内市、大阪狭山市
- 8 岬町、河内長野市、交野市、富田林市、太子町、箕面市、河南町、千早赤坂村、豊能町、能勢町

11

ソラダス2016のまとめ

■NO2測定で明らかになったこと

- ◇大阪府、大阪市の**NO2汚染分布の特徴**が明らかになった
- ◇NO2汚染の**主要因は、自動車交通、及び港湾活動など湾岸域の産業活動とそれに伴うディーゼル大型車交通**
- ◇**環境基準を超える高濃度汚染地点**が存在する
- ◇現在の**大気常時測定網では高濃度汚染が把握できていない**

■健康アンケートで明らかになったこと

- ◇NO2濃度とぜん息有症率との間は**明らかな正の相関**
- ◇**道路沿道では、非沿道と比べ、ぜん息など健康障害有症率が高い**
- ◇**全年齢層にわたってぜん息患者が存在し、する**

■ソラダス2016の結果が提起する課題

- ◇**自動車交通対策**、港湾活動とそれに伴う**ディーゼル大型車交通の汚染対策の強化必要**
- ◇**多数の健康被害者が存在する**。とくに環境基準を超える高濃度汚染地点の**健康調査の実施、医療費助成など健康被害補償措置が必要**
- ◇高濃度汚染を見逃さない**大気常時監視の充実強化が必要**
- ◇市民の測定運動で環境行政を監視する必要

12